

第 20 回北海道透析技術談話会

－透析領域の環境問題への取り組み－

2019 年 10 月 27 日（日）

会場：北海道大学学術交流会館（札幌市北区北 8 条西 5 丁目）

参加費：1,000 円

透析室の感染対策などの環境改善、洗浄消毒剤などの排水問題、働くスタッフの環境の改善などについて

9:55-10:00 開会の辞

10:00-10:20

「バクスター株式会社の取り組み」 バクスター株式会社

10:20-10:40

「日機装株式会社の取り組み」 日機装株式会社

10:40-11:00

「東レ・メディカル株式会社の取り組み」 東レ・メディカル株式会社

11:00-11:20

「ニプロ株式会社の取り組み」 ニプロ株式会社

11:20-11:40

「扶桑薬品工業株式会社の取り組み」 扶桑薬品工業株式会社

12:00-12:45 「ランチョンセミナー」 扶桑薬品工業株式会社

『北海道の透析環境の状況』

演者：医療法人仁楡会 仁楡会病院 副院長 前野七門 先生

座長：釧路泌尿器科クリニック 副院長 大澤貞利 先生

13:00-13:10 総会

13:10-13:30

「大阪佐々木化学株式会社・旭化成メディカル株式会社の取り組み」 大阪佐々木化学株式会社
旭化成メディカル株式会社

13:40-14:00

「中外製薬株式会社の取り組み」 中外製薬株式会社

14:00-14:30 総合討論

14:30 閉会の辞

本会への参加は「血液浄化専門臨床工学技士」および「認定血液浄化臨床工学技士」の各資格に対して、8 ポイント付与されます。

今年より北海道透析技術談話会の事前参加登録方法がはがきによる登録から web 登録に変更になっております。
登録方法は下記 URL または QR コードとなりますので、お間違えの無いようにお願いします。
事前登録の締め切りは 10 月 20 日(日)23:59 までとなっております。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSee-EK68Atd2WvPUra7jqKt5dOgChhpNJYcNXSDqJTIYSaeZw/viewform?vc=0&c=0&w=1>



趣意書

現在、血液透析療法は、延命目的から社会復帰を目指す治療法として発展しています。透析患者の社会復帰は当然のことであり、さらなる QOL の向上を目指し、血液透析療法が行われているとさえ言えます。

このため、透析器は大孔径化、高性能化される傾向があり、また、透析効率を向上させるため、様々な治療モードが考案され、透析液を直接置換液として用いる On-line HDF や I-HDF が臨床で行われています。

このような透析療法を選択した場合、透析液の水質管理を厳重に行い、清浄化された透析液を供給する必要があります。また、透析液も使用する透析液の種類により水処理装置から検討しなければなりませんし、さらには透析周辺機器も新しい技術が導入され、体重計、血圧計も含めたコンピューターのオンライン化も検討されています。

一方、透析患者においても高齢化は大きな問題であり、透析領域の環境も変化してきました。これからは ADL を考慮した QOL 向上も必要になってきます。

このように透析技術の発展はめざましいものがあり、透析患者に、より良い透析生活を送ってもらうため、各施設においては優れた技術の導入を検討する必要があります。

当会はこれら多くの情報を集め、客観的な判断、検討するべく発足し、様々なテーマを今後も検討してまいります。

本年は演題を「**透析領域の環境問題への取り組み**」とし、人工腎臓に関わる各メーカー7社より、最新の情報を教えて頂きます。

質疑応答の時間も設けます。皆さんと情報を共有し、有意義な会にしたいと存じます。

開催日：2019年10月27日（日）

会場：北海道大学学術交流会館（札幌市北区北8条西5丁目）

北海道透析技術談話会

代表世話人 大澤 貞利

共催：北海道透析技術談話会

公益社団法人 北海道臨床工学技士会

扶桑薬品工業株式会社